

平成26年12月放送総局長定例記者会見要旨

○第47回衆議院選挙の放送についての総括（板野放送総局長）

NHKは、14日午後7時50分から開票速報番組を放送し、午後8時に、大勢判明について「自民・公明両党は、3分の2の317議席に届く勢いで、自民党は、単独でも、300議席に迫る情勢」と伝えた。翌日午前3時頃に比例代表の最後の当確者を打ち出すなど、終夜にわたって475全議席の選挙結果をお伝えした。視聴率も各局の中で最も高い数字となり、多くの視聴者の支持を得ることができた。ただ、当確の打ち間違えが1件あった。開票速報番組の中で、お詫びと訂正を行った。

開票速報では、各候補・各政党の得票状況が一目でわかる画面の見やすさを追求するなど、視覚的にわかりやすい演出を心がけた。また、各党幹部のインタビュー中継、当選・当確者の声、政局をめぐる動きについても丁寧に伝え、選挙の全貌を詳しく伝えた。

国際放送「NHKワールドTV」でも、午後8時から英語による開票速報番組を放送し、最後の当確者まで詳しくお伝えした。

さらに、インターネットやスマートフォン、携帯電話、それにデータ放送でも開票の状況を詳しくお伝えした。インターネットを使って送信したサービスのアクセス数は、スマートフォンを含め、当日午後8時から翌朝9時までで、4900万ページビュー程度で、前回2012年の衆議院選挙に比べて10%ほどの伸びになった。

○阪神・淡路大震災20年関連番組（森永副総局長）

阪神・淡路大震災から来年の1月17日で20年になる。1月17日を中心に「あの日を胸に生きる 阪神・淡路大震災20年」と題して関連番組を放送する。NHKスペシャル「シリーズ阪神・淡路大震災20年」では「大都市再生 20年の模索」「都市直下地震 20年目の警告」を2夜連続で放送する。また1月17日当日は早朝から深夜にかけて、神戸からの中継番組などで被災地や当事者がさまざまな思いを抱えて過ごしてきた20年の時間の重みを見つめる。

（詳細は報道資料を参照）

○「ゆく年くる年」（森永副総局長）

今回のテーマは「平和への祈り 光ほのかに」。今年は広島の大規模土砂災害や御嶽山の噴火など、大きな自然災害に見舞われた1年だった。来年、日本は戦後70年という大きな節目を迎える。穏やかで平和な世の中を願う人々の祈りや、未来への希望の光を全国各地から中継で伝える。

（詳細は報道資料を参照）

○岩井俊二のMOVIEラボ（下川副総局長）

映画監督・岩井俊二さんが、毎回「SF」「特撮」などのテーマを設定し、そのテーマにそった映画の魅力や裏側などを解析する。岩井さんの幅広いネットワークを駆使して多彩なゲストを招き、映画人ならではの視点で、映画の魅力の神髄をひもといていく。第1・2回のゲストは、庵野秀明さん、樋口真嗣さん。

（詳細は報道資料を参照）

○渡辺貞夫スーパービッグバンド～81歳 音楽と走り続ける～（木田副総局長）

日本が世界に誇るジャズサクソ奏者、渡辺貞夫さん。今年、17年ぶりにジャズビッグバンド「渡辺貞夫オーケストラ」を再結成し、全国ツアーを行った。今なお、若手たちから新たな刺激を受けようとする彼のインタビューなどを織り交ぜながら、ツアーライブの演奏をたっぷりお届けする。

（詳細は報道資料を参照）

○新春特番「KABUKI の華麗な舞踊」を世界に発信（板野総局長）

NHKワールドTVで放送している「KABUKI KOOL」のスペシャル版。市川染五郎さんが案内役となり、奇想天外で豪快、華麗で楽しい歌舞伎の見どころ・味わいどころを世界の人々に分かりやすく紹介する。今回は、踊り中心に物語が展開する“舞踊劇”から、「娘道成寺」などをお送りする。

（詳細は報道資料を参照）